三重県職員(学芸員)の募集について

三重県では、三重県総合博物館において学芸業務を主として行う職員(学芸員)を次のとおり募集しています。

○博物館教育又は博物館の教育的普及活動全般に対して専門的知見と意欲を有する人

1 職種、採用予定数、職務内容及び受験資格等

(1)職種、専門分野及び採用予定数

- ①職種及び専門分野 学芸員(博物館教育)
②採用予定数 1名

(2)職務内容及び受験資格

職種	職務内容	受験資格	
		年齢	免許等
学芸員(博物館教育)	三重県総合博物館において、博物館教育業務及びアウトリーチ活動並びに展覧会企画をはじめとする学芸業務を行う。	昭和 63 年 4 月 2 日以降に生まれた人	博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)に基づく学芸員の資格を有する人(令和8年 3 月 31 日までに資格取得見込みの人を含む。)

※所属は、採用後の人事異動により変わることがあります。

※次の各号のいずれかに該当する人は、受験することができません。

- (1)拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
(2)三重県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
(3)日本国憲法施行の日以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した人

※なお、この試験は、日本の国籍を有しない人も受験できます。

2 試験の日時、会場及び結果の発表

試験日時		試験会場	結果発表
第1次選考	(書類選考)		令和 7 年 9 月 26 日(金)【予定】 受験者全員に結果を書面で通知します。
第2次選考	令和7年 10 月 12 日(日) (時間等については、第1次選考の結果通知でお知らせします。)	津市内 (会場の詳細については、第1次選考の結果通知でお知らせします。)	令和 7 年 10 月 17 日(金)【予定】 受験者全員に結果を書面で通知します。
第3次選考	令和7年 11 月 9 日(日) (時間等については、第2次選考の結果通知でお知らせします。)	津市内 (会場の詳細については、第2次選考の結果通知でお知らせします。)	令和 7 年 12 月中旬【予定】 受験者全員に結果を書面で通知します。

3 試験の内容及び合格者の決定方法

(1)第1次選考(書類選考:受験申込時に提出)

試験種目	配点	基準点	内容
業績評価	60	36	業績一覧表により、専門的知識・能力等の評価を行います。
小論文試験	40	24	小論文により、博物館教育に関する知識や経験及び博物館に係る理解度等を判定します。

●合格者の決定方法

合計得点の高い人から順に、採用予定数の5倍程度の人数を第2次選考の対象とします。ただし、基準点に達しない試験種目が一つでも存在する場合は、他の試験種目の成績にかかわらず原則として不合格となります。(基準点については概ねの基準であり、採用予定数確保のため、変更する場合があります。)

第1次選考合格者については、令和 7 年 10 月 12 日(日)に実施する第2次選考を受けていただきます。詳しくは第1次選考結果通知でお知らせします。

(2) 第2次選考

試験種目	配点	基準点	内容
専門論述試験	40	24	博物館教育に関する論述試験を行います。
専門口述試験	60	36	博物館教育に関する口述試験を行います。

●合格者の決定方法

第2次選考にて基準点を満たす方を第3次選考の対象とします。ただし、基準点に達しない試験種目が一つでも存在する場合は、他の試験種目の成績にかかわらず原則として不合格となります。(基準点については概ねの基準であり、採用予定数確保のため、変更する場合があります。)

第2選考合格者については、令和7年11月9日(日)に実施する第3次選考を受けていただきます。詳しくは、第2次選考結果通知でお知らせします。

(3) 第3次選考

試験種目	配点	基準点	内容
教養試験	50	17.5	公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験を行います。※1
論文試験	10	2	総合的な知識力・理解度、論理的表現力、論理的思考力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。
人物試験	60	※2	人物について、個別面接による試験を行います。
適性検査	配点なし(適否のみ判定)		職務遂行に必要な適性について、検査を行います。

※1 教養試験の出題分野

知識分野・・・時事、社会科学、人文科学、自然科学

知能分野・・・文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

※2 5段階で評定し、上位4段階に評定されること。(評定結果に応じて配点されます。)

●最終合格者の決定方法

第3次選考の合計得点の高い人から順に、採用予定数を勘案して最終合格者を決定します。(第1次選考及び第2次選考の得点は、第3次選考の得点に算入しません。)

ただし、基準点に達しない試験種目が一つでも存在する場合は、他の試験種目の成績にかかわらず原則として不合格となります。(基準点については概ねの基準であり、採用予定数確保のため、変更する場合があります。)

4 採用

(1)採用者は最終合格者の中から任命権者が行う面接等により決定します。

(2)採用は、原則として令和8年4月1日以降の予定です。ただし、採用時までには学芸員資格の取得が必要です。なお、採用時に日本の国籍を有しない人で就労が制限されている在留資格の人は採用されません。また、日本の国籍を有しない人の任用にあたっては、「公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わる職務を行うためには日本国籍が必要である」という公務員の基本原則に沿った任用が行われます。次の表を参考にしてください。

公権力の行使に該当する業務	公の意思の形成への参画に該当する職
法令等に基づく許認可を行う業務等。なお、詳細は環境生活総務課へお問い合わせください。	部長級、次長級、課長級等の職のうち、県行政について企画、立案及び決定に参画する職

5 給与

職員として採用された場合には、「職員の給与に関する条例」の規定による給料及び扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等の諸手当が支給されます。

6 受験の申込方法及び受付期間

区分	内容	必要書類
申込方法	<p>「三重県職員採用選考試験申込書兼履歴書」に必要事項を自筆で記入のうえ写真を貼り付け、右記の必要書類等を添えて、封筒の表面の左端に「学芸員(博物館教育)採用選考試験受験」と朱書きし、下記申込先に直接持参するか郵送(簡易書留)してください。</p> <p>(令和7年9月17日(水)午後5時必着)</p>	<p>(1)三重県職員採用選考試験申込書兼履歴書(所定様式)</p> <p>(2)写真(無背景・脱帽・正面向き)・・・上記(1)申込書兼履歴書に貼り付けること</p> <p>(3)卒業証明書又は卒業見込証明書(最終学校)</p> <p>(4)成績証明書(学芸員資格を取得した(あるいは取得見込みの)学校が発行したものの)</p> <p>(5)業績一覧表(所定様式)(作成要領に基づいて作成すること) ※業績に関する資料の写し(A4版、両面、1件2枚まで、最大5件)を各1部添付すること</p> <p>(6)小論文(作成要領に基づいて作成すること) 次の①及び②の課題について、それぞれ制限字数内で作成してください。 ①「博物館教育の意義及びその重要性について述べてよ」(1,000字以内) ②「志望動機及び着任後の活動に関する抱負について述べてよ」(2,000字以内)</p> <p>(7)学芸員資格の取得を証明する書類(学芸員資格を有する人のみ。学芸員資格取得見込みの人は、上記(1)申込書兼履歴書にその旨を記載すること。)</p>
申込先	<p>三重県環境生活部 環境生活総務課 総務班 (担当)佐藤、大矢 〒514-8570 三重県津市広明町13番地(三重県庁8階) 電話番号 059-224-2308</p>	
受付期間及び時間	<p>令和7年8月20日(水)から令和7年9月17日(水)まで(ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く。) 午前8時30分から午後5時まで</p>	

※申込書類は返却しません。

7 受験上の注意事項(第2次選考、第3次選考)

- (1)本試験の実施にあたっては、受験票の発行はしておりませんので留意願います。
- (2)試験日には、B又はHBの鉛筆数本、黒のボールペン、消しゴム等筆記用具、時計(計時機能だけのものに限る)及び昼食を持参して、直接試験会場にお越しください(詳しくは、第1次選考及び第2次選考の結果通知でお知らせします)。
- (3)携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等通信機能を有するものは、時計としても一切使用できません。
- (4)携帯電話等は試験会場に入る前に電源を切ってください。

8 試験成績の提供

受験者のうち希望者には試験成績を提供します。なお、電話、はがき、電子メール等による請求はできませんので、受験者本人が本人であることを証明する書類(運転免許証、健康保険の被保険者証、学生証など)を持参のうえ、直接お越しください。

請求できる人	提供内容	提供期間	提供場所
第1次選考の受験者	受験者本人の第1次選考の試験種目ごとの得点、総合得点及び総合順位等	<p>合否通知発送日から起算して1年間 (ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。)</p> <p>午前8時30分から午後5時まで</p>	<p>三重県総務部人事課 三重県津市広明町13番地 (三重県庁3階)</p>
第2次選考の受験者	受験者本人の第2次選考の試験種目ごとの得点、総合得点及び総合順位等	<p>合否通知発送日から起算して1年間 (ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。)</p> <p>午前8時30分から午後5時まで</p>	<p>三重県総務部人事課 三重県津市広明町13番地 (三重県庁3階)</p>
第3次選考の受験者	受験者本人の第3次選考の試験種目ごとの得点、総合得点及び総合順位等	<p>合否通知発送日から起算して1年間 (ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。)</p> <p>午前8時30分から午後5時まで</p>	<p>三重県総務部人事課 三重県津市広明町13番地 (三重県庁3階)</p>

三重県職員採用選考試験申込書兼履歴書

氏名		生年月日・年齢		受験地	受験職種	※受験番号
(フリガナ) 氏名		年 月 日 満 歳(受験日現在)		津市	学芸員	
現住所(アパート、寮等に居住の場合はその名称まで詳しく記入のこと)				電話		<p>(写真貼付欄)</p> <p>写真は申込前6ヶ月以内に無背景・脱帽で上半身正面を撮った縦4 cm、横 3 cmのものを裏面全体にのりをつけて貼ってください。</p>
〒						
試験結果等の通知先(上記と同じ場合は記入不要)				電話		
〒						
学歴(最終学歴(在学中を含む)を記入のこと)						
学校名	学部名・学科名/研究科・専攻		期間	所在都道府県	区分	
			年 月 日から 年 月 日まで		☐ 卒業 ☐ 卒業見込み ()年在学	
職歴(ある場合は新しい順にすべて記入のこと)						
勤務先名称	職務内容	所在地(都道府県、市町村名)		在職期間		資格、免許 ・資格、免許を必要とする職種を受験する人に限り、その取得状況(見込みの場合を含む)を記入のこと
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		
				年 月 日から 年 月 日まで		

※裏面の記入要領をよく読んで記入してください。

(裏面に続く)

【記入要領】

- 1 ※の欄を除くすべての欄にもれなく記入してください。
- 2 記入はすべて黒のインク又は黒のボールペンを用い、楷書で丁寧に書き、該当する内容を○で囲むか又はチェックをしてください。
- 3 日付は和暦で記載し、数字は算用数字を使用してください。

私は、三重県職員選考採用試験を受験したいので、以上のとおり申し込みます。

なお、私は、次のいずれにも該当しておりません。また、この申込書等のすべての記載事項に相違はありません。

- 1 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 2 三重県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 3 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

令和 年 月 日

氏名(自筆) _____

(注)この申込書兼履歴書の記載事項(年齢、学歴、職歴、宣誓事項等)に不正があると採用される資格を失うことがあります。

業績一覧表作成要領

● 共通事項

※所定の様式に記載すること。

※パソコンの場合の文字の大きさは、11ポイントとしてください。なお、各項目の枠の大きさは変更しないでください。

1 博物館活動の業績

※博物館教育として取り組んだ業績のうち、下記①～④のそれぞれの項目について、活動名、概要、実施期間(開始年月～終了年月)を記載すること。なお、①～③の区分は必須とする。

※複数の者で行った業績については主担当か副担当かを「概要」欄に記載すること。

※複数ある場合は行を追加して記載すること。

※業績の中から代表的なものを最大5件まで選定し、その資料の写し(A4版、両面、1件2枚まで)を各1部添付すること。

①調査研究等

- ・調査研究活動の立案および実施
- ・共同研究等への分担参加 等

②教育活動等

- ・博物館教育活動の立案および実施
- ・学校等へのアウトリーチ活動 等

③展覧会企画等

- ・展覧会企画や図録製作等の実績 等

④その他、博物館教育としての活動成果

- ・博物館利用者との交流や学習などのイベント開催の活動 等

2 専門分野における研究成果

※博物館教育として取り組んだ、(1)論文等の①～③及び(2)発表・講演等の④に関する研究成果を記載すること。

※複数ある場合は行を追加して記載すること。

(1)論文等

①学術論文

- ・著者名、タイトル、掲載誌名、発行又は発表年月日等の内容を記載すること。
- ・査読の有無を記載すること。

②著書等

- ・著者名、タイトル、出版社、発行年を記載すること。
- ・単著でない場合は、編者名、分担した章のサブタイトル等も記載すること。

③その他

- ・学術論文、著書に準じた書式でわかりやすく記載すること。

(2)発表・講演等

④発表・講演等

- ・タイトル等、発表学会等、口頭／ポスター、発表内容、発表年月日について記載すること。
- ・単独でない場合は、各発表者名、分担した内容等も記載すること。

【様式】業績一覧表

職種:学芸員(博物館教育)

氏名:_____

1 博物館活動の業績

(1)区分①・・・調査研究等(調査研究活動の立案および実施、共同研究等への分担参加 等)【必須】

No.	活動名	概要	実施期間 (開始年月～終了年月)
1			
2			
3			

(2)区分②・・・教育活動等(博物館教育活動の立案および実施、学校等へのアウトリーチ活動 等)【必須】

No.	活動名	概要	実施期間 (開始年月～終了年月)
1			
2			
3			

(3)区分③・・・展覧会企画等(展覧会企画や図録製作等の実績 等)【必須】

No.	活動名	概要	実施期間 (開始年月～終了年月)
1			
2			
3			

(4)区分④・・・その他、博物館教育としての活動成果(博物館利用者との交流や学習などのイベント開催の活動 等)

No.	活動名	概要	実施期間 (開始年月～終了年月)
1			
2			
3			

2 専門分野における研究成果(論文、発表、講演等)

(1)論文等(論文、著書、その他)

①学術論文

- ・
- ・
- ・

②著書等

- ・
- ・
- ・

③その他

- ・
- ・
- ・

(2)発表・講演等

④発表・講演等

- ・
- ・
- ・

小論文に係る作成要領

1. 小論文課題

次の2件の課題に係る小論文を作成し提出すること。

- ①「博物館教育の意義及びその重要性について述べよ」(1,000字以内)
- ②「志望動機及び着任後の活動に関する抱負について述べよ」(2,000字以内)

2. 作成要領

※用紙は、A4判縦、両面印刷とする。

※記載方法は、日本語で横書きとし、1行あたり40字、1ページあたり40行として、パソコンで作成すること。

※作成にあたり、引用した論文、著書等があれば、最後に著書名、著作者及びページ数等を記載すること。なお、この部分は字数制限に含めないこととする。

※複数枚に渡る場合は、それぞれのページの最下段にページ番号を付記すること。

※提出する2件の課題以外に、「職種：学芸員(博物館教育)」及び「作成者の氏名」を記載した表紙となるページを作成すること。

【作成例・・・表紙】

職種：学芸員(博物館教育)

氏名：_____

【作成例・・・小論文①】

①博物館教育の意義及びその重要性について

(以下に1,000字以内で本文を記載)

(最後に、引用した論文等があれば、その旨を記載する。)

【作成例・・・小論文②】

②志望動機及び着任後の活動に関する抱負について

(以下に2,000字以内で本文を記載)

(最後に、引用した論文等があれば、その旨を記載する。)